



- ◇ 発行：中国情報通信懇談会
- ◇ TEL：082-222-3324 FAX：082-502-8152
- ◇ E-mail：jimukyoku@cic-infonet.jp
- ◇ <http://www.cic-infonet.jp/>

<<中国情報通信懇談会／懇談会事業>>

災害情報伝達に関するセミナー

～災害情報「伝える」から「伝わる」へ～

平成30年7月豪雨災害により、中国地方は記録的な土砂災害や浸水被害等に見舞われ、広島県、岡山県及び山口県で計170余名の尊い人命が犠牲となりました。

今般の災害においては、自治体から住民への避難情報の伝達と、避難情報に基づく住民の避難行動が適切に行われたかが課題とされています。

このため、中国情報通信懇談会は、中国総合通信局及び中国地方非常通信協議会との共催により、災害情報伝達に対する意識の向上を目的とした「災害情報伝達に関するセミナー」を広島市で開催します。

また、会場では防災減災をテーマとした機器展示を行います。

日時 平成31年1月17日（木） 13:30～17:30（受付 12:30～）

会場 ホテルメルパルク広島 6階「平成」（広島市中区基町6-36）

<https://www.mielparque.jp/hiroshima/access/>

内容 2ページ目のプログラムをご覧ください。

主催 中国情報通信懇談会、総務省中国総合通信局、中国非常通信協議会

定員 100名（参加費無料）

対象 どなたでも参加できます。

締切 平成31年1月11日（金）

以下のURLより、お申し込み下さい。

<https://jiji.smartseminar.jp/public/application/add/286>

上記の方法で申込が難しい場合は、事務局までご連絡下さい。

問い合わせ先 中国総合通信局 情報通信振興課

TEL：082-222-3324 FAX：082-502-8152

「災害情報伝達に関するセミナー」プログラム

【開催日】 平成 31 年 1 月 17 日(木)

【開催場所】 ホテル メルパルク広島(6階 平成の間)

<所在地> 広島市中区基町6-36 <電話> 082-222-8501

《 プログラム 》		
13:30～13:35	開 会	総務省中国総合通信局長 長塩 義樹
13:35～15:05	基調講演 【90分】	「多発する自然災害からの避難行動」 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授 片田 敏孝 氏
休 憩 【10分】		
15:15～15:35	講演1 【20分】	「ICT/IoTによる地域課題の解決に向けた総務省の取組 ～Lアラートの推進等防災分野における取組を中心に～」 総務省 官房審議官(情報流通行政担当) 赤澤 公省
15:35～16:15	講演2 【40分】	「平成30年7月豪雨における広島市の対応と今後の取組について」(仮題) 広島市長 松井 一寛 氏
休 憩 【10分】		
16:25～17:25	パネルディ スカッション 【60分】	テーマ「災害情報“伝える”から“伝わる”へ」 コーディネータ 中国新聞社 特別編集委員 江種 則貴 氏 パネリスト 広島経済大学 経済学部メディアビジネス学科 教授 松井 一洋 氏 NHK 広島放送局長 姫野 浩 氏 三原ケーブル放送株式会社 専務取締役 中村 勝 氏 ヤフー株式会社 天気・災害サービス担当 竹本 大輔 氏 広島市安佐北区三入地区 自主防災会連合会長 新木 信博 氏
17:25～17:30	閉 会	中国情報通信懇談会 運営委員長 相原玲二(広島大学 副学長 教授)

【機器展示】

12 時 30 分から 18 時までセミナー会場内にて防災・減災をテーマとした機器等を展示